

A、  
B

平成二十九年度個別学力検査問題(国際資源学部、教育文化学部)

国  
語

前  
期  
日  
程

注  
意  
事  
項

- 一 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- 二 この問題冊子は、七ページあります。解答用紙は一枚です。問題は二題あります。二題すべてに解答しなさい。  
試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- 三 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 四 解答は、解答用紙の該当欄に記入しなさい。
- 五 配付された解答用紙は、持ち帰ってはいけません。
- 六 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

— 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

# 本文省略

(國分功一郎『民主主義を直感するために』(晶文社二〇一六より)

問一 傍線部①「余分は無駄ではない」とあるが、なぜそのように言えるのか。傍線部の前までの本文を用いて説明しなさい。

問二 傍線部②「消費は終わらない」とあるが、その理由を「浪費」の場合と対比しながら説明しなさい。

問三 傍線部③「浪費家」、傍線部④「消費者」とはそれぞれどのようなことを指しているのか。グルメブームの例をもとに、それぞれの、モノの受け取り方の違いを明らかにして説明しなさい。

問四 傍線部⑤「日常的に様々な楽しむための訓練を行っている」、傍線部⑥「こうした訓練の機会が日常生活から奪われている」では、一見相反することが述べられている。これを踏まえて、(a)「楽しむための訓練」とはどのようなことか、その説明として適切なものをア～オの中から一つ選びなさい。また、(b)「訓練の機会が日常生活から奪われている」とはどのようなことか、その説明として適切なものをカ～コの中から一つ選びなさい。

(a)

ア 「楽しむための訓練」とは、ラッセルが述べているように、学校で行われている様々な教育のこと。

イ 「楽しむための訓練」とは、ハイ・カルチャーを理解できる教養を身につけること。

ウ 「楽しむための訓練」とは、モノに付与された意味の価値を理解すること。

エ 「楽しむための訓練」とは、日常的にモノをモノとして受け止め味わうこと。

オ 「楽しむための訓練」とは、個人的な趣味を自分なりに楽しむこと。

(b)

- カ 学校で過ごす時間が限られているため、十分な訓練の時間が確保できないということ。
- キ 個人の趣味が多様化しているため、価値観が共有できなくなってきたということ。
- ク モノを記号や意味として受け止めているため、消費者にしかなることができないということ。
- ケ ハイ・カルチャーの楽しみは高度な技術が必要のため、一部の人にしか機会が与えられていないということ。
- コ 意味の享受は限界がないため、いくら訓練しても十分な機会が保証されているとは言えないということ。

問五 傍線部⑦「楽しむ」という行為がもつ社会的な意義」とは具体的にはどういうことか。わかりやすく説明しなさい。

問六 筆者の考え方にあなたは納得しましたか。はじめに「納得した・納得しなかった」かを答えた上で、その理由を二百字以内で述べなさい。その際に本文中にない具体例を一つ以上あげなさい。

二 次の①～⑤の傍線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- ① 自然への イケイ の念。
- ② 前例に ナラ う。
- ③ 穏やかな クチヨウ で話す。
- ④ 温泉が ワ く。
- ⑤ ハラン の人生。